第７回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

# 消費・安全局長賞

# NPO法人 劇場創造ネットワーク

[ 東京都：活動期間６年 ]

**演劇公演 座・高円寺レパートリー**
**『フランドン農学校の豚 ～注文の多いオマケ付き～』**

## 歌とダンスで楽しさの中に食育を

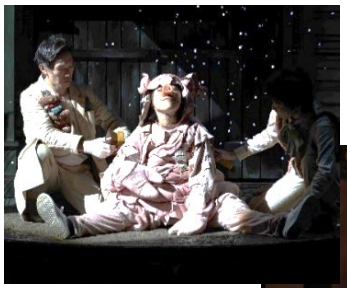
宮沢賢治の童話『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』をもとに作った演劇。フランドン農学校で飼われている豚が食肉となるまでの物語と、狩りに来た紳士が山猫に食べられそうになる物語を一つに合わせ、歌とダンスを盛り込み、こどもから大人まで「食べる・食べられる」をテーマに食について考える事を促す作品です。こどもたちに命の大切さや「いただきます/ごちそうさま」の意味について考えてもらうため、毎年、杉並区の小学４年生を演劇鑑賞教室として招待したり、中学生以下には無料公演を実施しています。

いただきますと
ごちそうさまの
意味を演劇で

重くなりがちなテーマも
明るい歌とダンスで

## 命と食について考えるきっかけに

こどもから大人までの誰もが、同じ気持ちでテーマに向き合ってもらいたいという思いを持ちながら活動しており、学校公演後には、毎回、こどもたちと俳優によるアフタートークを行い、命と食のつながりについてみんなで考える時間を設けています。公演後のアンケートでは「学校や家庭での食べ残しが減った」「好き嫌いをしないように食べたい」といった声が寄せられています。



学校や家庭でも
話題になるように！

感想や質問が飛び交う
アフタートーク

## 演劇を通して こどもたちに発信

2017年初演以来、年々こどもたちの観劇の機会を広げ、2020年度以降は毎年、全国の小中学校にも出かけ、観劇を楽しみながら「食」について考える機会を提供することができました。観劇後には、こどもたち自身の食生活や感想を聞いたり、作品に関しての質問に答えたりしながら、命を食べるということについて一緒に考える時間を持ち、作品づくりにも活かしています。また、小中学校でワークショップを行い、出演者と一緒にこどもたちの食体験を演劇にして「いただきます／ごちそうさま」について考える機会につなげています。

劇場を飛び出し全国の小中学校へ！

ワークショップの様子

様々な世代や、各地に住む人たちの日常の中にありたいと願いながら演劇活動する身としては、誰の生活の中にもある食育という観点から賞をいただけたことは、とても励みになります。これからも食育を通じ、普段劇場や演劇にこられない方にも通ってもらえるよう、繋げていきたいと思います。本当に有難うございました。

NPO法人 劇場創造ネットワーク 一同